



ドリアス

富山県

No.48 2008年7月

中央植物園だより



「清楚な元気源」 撮影/鍛冶 博さん（第10回私の植物写真展応募作品）

シラネアオイ *Glaucidium palmatum* Siebold et Zucc.

シラネアオイ科シラネアオイ属に属する一科一属一種の植物で、北海道及び本州中北部のみに分布する日本固有の植物です。初夏に咲くピンクの清楚な花は自生地を訪れた人を魅了します。

BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

7月～9月のサンライトホール展示



企画展「水生植物展」

7月25日(金)～10月1日(水)

今年の中央植物園の夏は「水草」をキーワードに様々なイベントを開催します。

「水生植物展」では南米の自生地では直径2 mにもなる葉を持つオオオニバスの仲間や色とりどりの熱帯スイレン、タイモやエンツアイなどの有用植物を約50種類、200株展示します。外国から観賞用に持ち込まれた外来種を展示し、自然環境の保全についても紹介します。

関連イベント（詳細は催し物のご案内をご覧ください）

第16回TOYAMA植物フォーラム「水草の栽培と保全」

7月12日(土) 13:30～16:30

水草を使った実験観察 ◎要申込

①水草の形態 7月27日(日) 13:30～16:00

②光合成実験 8月2日(土) 13:30～16:00

★講演会「水草ビオトープの実際と問題点」 ◎要申込

7月29日(火) 13:30～15:30

オオオニバスに乗ってみよう ◎要申込

①8月9日(土) 10:00～12:00

②8月16日(土) 10:00～12:00

対象:年長児～小学生(体重30kg未満)

★観察会「水草の名前を調べよう」 ◆要申込

9月23日(火・祝) 13:00～16:00

参加費/保険料が必要です



夏休み特別企画「親子体験コーナー」

7月18日(金)～8月31日(日)

昨年たいへん好評だった「親子体験コーナー」を今年も設置します。植物の木の实や板を使った工作や顕微鏡観察を体験することができます。夏休みの宿題に最適です。お子様だけでも利用することができます。



「食虫植物展」

7月18日(金)～7月30日(水)

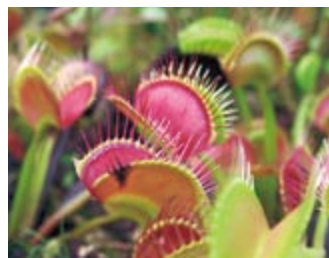


代表的な食虫植物のウツボカズラ

昆虫などの動物を捕まえて、栄養分を吸収する植物を「食虫植物」といい、世界中に11科20属、種類は500以上あると言われています。開催期間中は代表的はウツボカズラの仲間やサラセニア、ハエトリグサ、モウセンゴケの仲間のほかに、中米のギアナ高地に生育するヘリアンフォラなども展示します。



モウセンゴケの仲間は富山県にも自生しています



すばやく葉を閉じて虫を捕まえるハエトリグサ



仮面ライダーの怪人「サラセニア」のモデルになったサラセニア



中米ギアナ高地原産の珍しい食虫植物ヘリアンフォラ

「フラワーデザイン展富山 2008」

9月13日(土)～9月15日(月・祝)



(社)フラワーデザイナー協会富山県支部との共催により、「フラワーデザイン展2008」を開催します。フラワーアレンジメントをはじめコサージュ、シュトラウス、アクセサリーなど100点を越える作品を展示します。

普段の植物園では見られないフラワーデザインの世界をお楽しみください。



昨年のフラワーデザイン展の様子と作品

関連行事 講習会「フラワーアレンジ教室」

①9月13日(土) 11:00～12:00

②9月14日(日) 13:30～14:30

場 所/ドリラスホール

講 師/(社)フラワーデザイナー協会富山県支部会員

参加費/1000円(別途入園料が必要です) 定員/各30名

電話での事前申し込みが必要です。

活動報告(4～5月)

「桜の新品種 ‘氷見久津呂菊桜’」

4月4日(金)～4月30日(水)



植物園の大原主任の調査により、氷見市の天然記念物に指定されている「上久津呂のツバキ・キクザクラ」

のサクラが新品種であることが明らかになりました。この世界にひとつしかないサクラの特徴などを写真などを使って紹介しました。

ソメイヨシノと夜桜観賞

4月7日(月)～10日(木)



最近、富山県の春のイベントとして定着してきました。

今年も4日間で2万5千人を超える大勢の来園者がありました。

ドリアスコンサート

4月12日(土)



富山ヴォーカルソレイユ」によるドリアスコンサートがサンライトホールで開催されました。

コンサートにはのべ120名ほどの鑑賞者があり、「この広い野原いっぱい」や「さくら」などの9曲と春のメドレー13曲に聞き入っていました。

ハンギングバスケット講習会 4月21日(土)



飛世裕香先生を講師に、ハンギングバスケットを制作しました。作品は園内に飾り、コンテストを開催しました。

県民植物学講座①

「植物季節と地球温暖化」

4月28日(月)



今年度最初の県民植物学講座は富山地方気象台の篠原学気象情報官を講師に迎え、「植物季節と地球温暖化」をテーマにお話いただきました。

第29回春のラン展

5月3日(木)～5日(土)



暖かい日が続き、エビネの花の状態が心配されましたが、エビネをはじめ、東洋ランや日本

原産の野生ランなど300鉢を超える出品があり、多くの入園者に楽しんでいただくことができました。

植物画講習会

5月17日(土)・18日(日)



植物画家の豊田路子先生と岡田宗男先生を講師に二日間にわたって植物画の講習会を開催しました。初日は切花のユリとアルストロメリアを題材

に、二日目は園内で咲いているタニウツギやエゴノキ、ハマナスなどを題材に描きました。画材によって苦労している参加者もみられました。

県民植物学講座②

「アメリカシロヒトリの生態と防除」 5月25日(日)



樹木医でもある中央植物園の西村正史専門員がアメリカシロヒトリの生態や富山県での状況、防除についてわ

かりやすく紹介しました。

身近な問題でもあり、予防の効果など参加者からはたくさんの質問がありました。

植物園 トピックス

■入園者100万人を達成しました。



富山県中央植物園では平成5年10月1日の開園以来の入園者数が4月6日に100万人に達しました。

100万人達成を記念して、翌7日の一番の入園者に内村園長より記念品が贈呈されました。

■植物園クラブが始まりました。

今年も小中学生を対象にした植物園クラブが始まりました。ペッ



トボトルを使ったハンギングバスケットやバイオ教室、パパイアの栽培などにたくさんの子供たちが参加しました。植物園クラブは年間を通して様々な内容で実施していますので、是非ご参加ください。

研究紹介◎平成19年度(財)国際花と緑の博覧会記念協会助成事業

『トウツバキ園芸品種の保全に関する日中共同研究』

ートウツバキの自生地とトウツバキ文化ー

副主幹研究員 山下 寿之

前号でも速報として紹介されました中国雲南省における「トウツバキ園芸品種の保全に関する日中共同研究」について、今回の調査(平成20年1月下旬から2月下旬まで志内利明主任同行)を詳しくご紹介します。まずトウツバキ(野生種) *Camellia reticulata* Lindl.の自生地ではどのような群落に出現するかを調べるため、大理州永平県金光寺自然保護区(大理市から車で約3時間)に行きました。この保護区に日本人が入るのは初めてだということで、地元政府関係者が案内してくださいました。標高およそ2,400mにはシイノキ属が優占する古い二次林が残されており、ここの沢筋にトウツバキの巨木が点在していました。これらの巨木は幹周120~170cm、樹高16~17mもあり、おそらく野生のトウツバキでは世界一と思われます。その他の群落構成種については、昆明植物研究所の魯氏に現在種類の同定をお願いしているところですが、日本の南九州の常緑広葉樹二次林を構成する種類と非常によく似ていることがわかりました。

これ以外の地域では、寺院などで保護されている巨

樹・古木の形態(樹高・幹周・花色測定など)・生育環境(土壌pH)の調査を行いました。トウツバキは仏教との結びつきが強く、本堂の前に左右一対植えられている所が多くみられました。これらの中には明代(今からおよそ800年前)に植えた記録が残されているものもあり、市の天然物に指定されている個体は一般の人が触ることも許されません。また、トウツバキは栽培だけでなく文化的にも根づいており、楚雄市の彝(イ)族(少数民族の1つ)の集落では各家の土塀にトウツバキの花の絵が描かれ、家紋のように家によって絵柄が異なっていました。また、大理市の白(バイ)族の旧家では柱や欄干にトウツバキの花が彫り込まれているだけでなく、中庭の植込みの植え桝の大理石にもトウツバキの花が彫り込まれていました。

トウツバキの開花は春節(中国の旧正月)の期間と一致しており、初詣とトウツバキ観賞を合わせて行って新年が始まるのが雲南省の人々では一般的であり、日本人が桜の花見を毎年行うのと同様にトウツバキを大切にしていることが感じられました。

近年は雲南省各地のトウツバキの生産地で、「山茶花博覧会」(トウツバキの展示会)が開催され、今回我々も大理市国際山茶花博覧会に参加しました。それと同時にツバキに関する学術会議を開催され、その席で今回のトウツバキ共同調査について、昆明植物研究所の王仲朗副研究員が発表しました。

雲南省各地のトウツバキの栽培圃場の視察や自生地の生育調査を行ったことで、富山県中央植物園に導入されたトウツバキの栽培や増殖に役立つものと期待されます。



昆明市郊外のトウツバキ古樹

催し物のご案内

■企画展示・夏休み特別企画 (9:00～17:00)

「親子体験コーナー」

7月18日(金)～8月31日(日)

会場／サンライトホール

どんぐり工作や顕微鏡観察などを体験することができます。夏休みの宿題にも最適です。

大人の方は入園料が必要です。

「私の植物写真展」

6月20日(金)～7月16日(水)

6月1日(日)に開催した植物写真教室で撮影した写真と一般から公募した写真を展示します。

入園料が必要です。

「食虫植物展」

7月18日(金)～7月30日(水)

ウツボカズラやサラセニア、モウセンゴケの仲間など代表的な食虫植物を展示します。

入園料が必要です。

「水生植物展」

7月25日(金)～10月1日(水)

オオオニバスをはじめスイレンなどの水生植物を展示します。

入園料が必要です。

オオオニバスに乗ってみよう

◎要申込

①8月9日(土) 10:00～12:00

②8月16日(土) 10:00～12:00

場所／植物園内

定員／各30名

対象／年長児～小学生(体重30kg未満)

付き添いの大人は入園料が必要です。

「スイレンフォト・お絵かきコンテスト」

8月29日(金)～9月10日(水)

園内で撮影したスイレンの写真や絵を展示してコンテストを開催します。

入園料が必要です。

「フラワーデザイン展富山2008」

9月13日(土)～9月15日(月・祝)

様々なフラワーデザインを展示します。

入園料が必要です。

■観覧会・講座・講習会

★第16回TOYAMA植物フォーラム 「水草の栽培と保全」

7月12日(土) 13:30～16:30

場所／研修室

内容／水草の栽培や絶滅危惧種が多い水生植物の保全について5人のパネリストが紹介します。

定員／70名 参加費／無料

★水草を使った実験観覧

◎要申込

①水草の形態 7月27日(日)

②光合成実験 8月2日(土)

13:30～16:00

場所／実習室

講師／中央植物園職員

定員／24名 参加費／無料

★講演会「水草ピオトープの実際と問題点」

◎要申込

7月29日(火) 13:30～15:30

場所／研修室

講師／倉重祐二(新潟県立植物園副園長)

定員／50名 参加費／無料

★講習会「フラワーアレンジ教室」

◎要申込

①9月13日(土) 11:00～12:00

②9月14日(日) 13:30～14:30

場所／ドリアスホール

講師／(社)フラワーデザイナー協会富山県支部会長

定員／各30名 参加費／1000円

★民植物学講座③

「野生動物の生態と植物

ークマ、サル、シカとの関係」

◎要申込

9月21日(日) 13:30～15:30

場所／研修室

講師／赤座久明(県自然保護課)

定員／30名 参加費／無料

★観覧会「水草の名前を調べよう」

◆要申込

9月23日(火・祝) 13:00～16:00

場所／県内(現地集合)

講師／中田政司(中央植物園企画情報課長)

定員／15名 参加費／保険料

■ドリアスコンサート

水辺のコンサート

「夕べのバイオリンー野崎弘道ミニコンサート」

8月16日(土) 16:00～17:00

入園料が必要です。

サマーナイトフェスタミニコンサート

「アンダルシアの花ー滝沢恵フラメンコ舞踊ー」

8月23日(土) 20:00～21:00

入園料が必要です。

■特別開園

「ゲッカビジン観賞」

ゲッカビジンの開花日に2夜連続で夜間開園を行います。

19:00～21:30 入園は21:00まで

夜間は屋外展示園は閉鎖します。

入園料／300円

お盆の開園時間延長

8月13日(水)～8月16日(土)

開園時間を午後6時まで延長します。入園は5時30分までです。

入園料／大人600円、高校生以下無料

サマーナイトフェスタ

8月23日(土)・24日(日)

夜の温室植物の観賞を行います。開園時間を午後9時30分まで延長します。入園は9時までです。

入園料／昼間600円、4時30分以降300円

■月例行事

日曜植物案内

第1、2日曜日 13:30～14:30

集合場所／サンライトホール

参加費／入園料が必要

ガイドボランティアや職員が見頃の植物などを解説します。

植物園オリエンテーリング

7月20日(日)・8月17日(日)

9月21日(日)・10月19日(日)

10:00～11:00 受付

植物に関する問題を解きながら楽しく園内をまわる行事です。

集合場所／サンライトホール

参加費／入園料が必要

◎要申込 事前の申込が必要です。前日までに「電話」でお申込みください。

◆要申込 事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から往復はがき・FAX・メール(botanic@bgty.org)で受け付けます。

★印はボランティア養成講座です

友の会会員募集中！

■特典

会員証を示しサインするだけで入園できます。

◎会報や植物園だよりが送られてきます。

◎多彩な友の会の行事に参加できます。

◎印刷物を割引で購入できます。

■会費

年額3,000円。5月以降、新規に加入される方は初年度会費の割引を受けられます。

■入会方法

植物園の入園窓口で随時受け付けています。

富山県中央植物園 入園案内

◎開園時間

9:00～17:00(入園は16:30まで)

(11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで)

◎休園日 毎週木曜日、年末年始(12月28日～1月4日)

◎入園料

大人(一般および大学生) 600円

団体料金(20名以上) 480円

高校生以下 無料

◎交通案内

JR富山駅から、富山県バス「ファボーレ 経由萩の島循環」に乗り「中央植物園」停留所下車、徒歩約12分／富山市中心部より車で約15分／北陸自動車道富山インターより車で約15分／JR速星駅より車で約8分

富山県中央植物園だより No.48

編集・発行／富山県中央植物園

〒939-2713 富山市婦中町上善田42 TEL 076-466-4187

http://www.bgty.org

印刷／大東印刷株式会社